

令和3年度

当別町の教育



(当別町一体型義務教育学校 令和4年度開校予定)

当別町教育委員会

目 次

教育目標・小中一貫教育	1
教育大綱	2

令和3年度の教育

【教育計画・予算】

1 当別町教育推進計画	4
2 学力向上プラン	5
3 体力向上プラン	6
4 コミュニティ・スクール（CS）	7
5 教育予算	8

【学校教育】

1 重点目標	11
2 小中学校現況	
(1) 児童生徒・教職員数	11
(2) 各学校概況	
当別小学校	12
当別中学校	14
西当別小学校	16
西当別中学校	18
3 小中一貫教育	20
4 学校給食	22
5 保護者支援制度（学校教育）	
(1) 就学援助	23
(2) 特別支援教育就学奨励費	24
(3) 特別支援学級等通学援助費	24

【社会教育】

1 重点目標	25
2 社会教育関係事業	
(1) 学校教育との連携事業	25
(2) 生涯学習推進事業	27
(3) 読書活動推進事業	28

(4) 生涯スポーツ推進事業	29
3 社会教育施設	
(1) コミュニティセンター・文化施設等	30
(2) 体育施設	31

【子育て・幼児教育】

1 重点目標	32
2 子育て・幼児教育関係事業	
(1) 特別保育事業	32
(2) 子ども発達支援センター事業	33
(3) 学童保育事業	34
(4) 子育て支援事業	34
3 子育て・幼児教育施設	36
4 保護者支援制度（子育て・幼児教育）	
(1) 就園援助事業助成費	36
(2) 教育・保育施設等助成費	36

【資料】

1 教育委員	37
2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務	39
3 教育関係各種委員	40
(1) 当別町教育支援委員会	
(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織	
(3) 当別町いじめ問題調査委員会	
(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	
(5) 当別町学校給食センター運営委員会	
(6) 当別町学校運営協議会	
(7) 当別町文化財調査審議会	
(8) 当別町社会教育委員会	
(9) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(10) 当別町スポーツ推進委員会	
(11) 当別町少年指導センター	
(12) 当別町子ども・子育て会議	

(13) 当別町要保護児童対策地域協議会	
4 教育関係各種団体	46
(1) 当別町文化協会加盟団体	
(2) 当別町スポーツ協会加盟団体	
(3) 当別町子ども会育成連合会加盟団体	
(4) 当別町女性団体連絡協議会加盟団体	
5 指定文化財一覧	48
6 教育の沿革	49
7 統計データ	54
(1) 小中学校施設の概況	
(2) 児童生徒数の推移	
(3) 各学校統合年の一覧	
(4) 就学援助の状況	
(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
(7) コミュニティーセンター・文化施設等 及び体育施設利用状況	
(8) 子ども発達支援センター利用状況	
(9) 私立幼稚園助成費	
(10) 教育・保育施設等助成費	

教育目標・教育大綱

- | | | |
|---|-------------|----|
| 1 | 教育目標・小中一貫教育 | P1 |
| 2 | 教育大綱 | P2 |
-



当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。
科学的な知識や技能を身につける。
豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。
自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。
明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」(平成27年3月制定)

小中一貫教育の目的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる。
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する。

小中一貫教育でめざす方向性

めざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

めざす児童生徒像

- **基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲** ～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- **豊かな人間性** ～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切に出来る子ども～
- **健全な心身** ～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- **コミュニケーション能力** ～自分の考えや思いを伝え、また聞くことで、積極的に人間関係を築く力を持つ子ども～
- **プレゼンテーション能力** ～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- **当別が好きな子ども**

めざす学校像

- **上位の学校へのスムーズな移行や、「ずれ」や「逆転」のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校**
- **その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校**
- **地域や保護者の思いが生かされ共に歩める学校**
- **魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校**

めざす地域像

- **学校がまちづくりの核である地域**
- **家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域**
- **子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域**
- **地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域**

2 教育大綱

【大綱策定の趣旨】

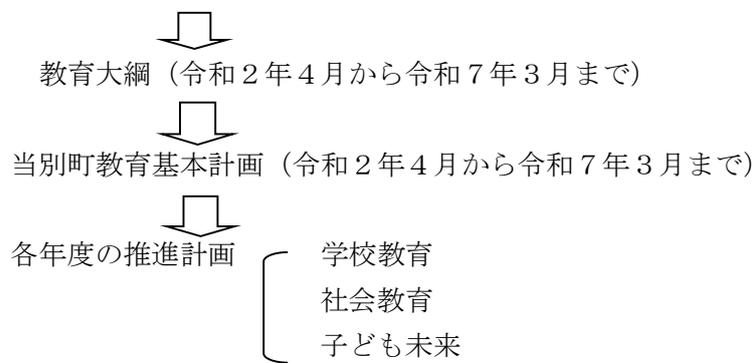
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、地方公共団体は、平成27年4月から教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下、大綱という。）を策定することとなった。この改正をうけ当別町では、平成27年に総合教育会議を開催し大綱を作成したがこの度、終期を迎えたことから、令和元年度の第1回総合教育会議において協議、調整を行い次期大綱を策定した。この大綱に基づき、学校教育や社会教育、子育て教育のさらなる発展を図る。

【期 間】

原則として、令和2年4月から令和7年3月までの5年間とする。なお、この期間内において大綱を見直す必要が生じた場合は、総合教育会議において協議する。

【関連計画】

当別町第6次総合計画（令和2年4月から概ね10年間）



【基本理念】

1 目指す人間像「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人」の育成

変化の激しい時代を生きる子どもたちに、基礎基本をしっかりと身につけさせそれらをもとに思考力、判断力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働し、自らの手で自らの人生を切り拓いていける力をつける教育を実践する。

2 幸せを実感できる生涯学習社会の実現

すべての町民が「住んでよかった町 当別」を実感できるよう、学習・文化活動・スポーツに親しむことのできる環境づくりを行う。

【基本方針】

学校教育

義務教育学校及び併設型を基軸とした9年間の切れ目のない一貫教育を実践する。それにより徹底した基礎学力の定着、自らの夢や目標を自らの手で切り拓いていける力、世界で活躍するためのツールとしての英語力、強い心と体など、世界に通用する人となるための確固たる基礎を作る。

また、その学びは「連続性のある多様な学び」であり、特別な支援を要する子どもたちも共に成長する教育である。

1 確かな学力

主体的・対話的で深い学びにより、将来の夢や希望を実現するために必要な学力を育成する。

2 豊かな人間性（心）

自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切にする心を全教育活動を通じて育成する。

3 健全な心身

自分を支える基本である健全な身体を、全教育活動を通じて育成する。

4 地域と共にある学校

地域の人材を教育に取り込みながら、地域の活性化につながる教育活動を実践する。

5 教育環境の整備

義務教育学校設立をはじめ、ICT など教育環境の整備を図る。

子ども未来

子どもの健やかな成長のため、保護者や地域と一体となった施策を行う。また、幼児教育と義務教育の接続の充実を図り一貫教育につなげる。

1 子育て支援

子育て世代の交流促進など、子育てしやすい環境の充実を図る。

2 子どもの安全・安心な環境づくり

放課後児童健全育成事業の活動内容や保育サービスの多様化を図る。

3 認定こども園との連携

教育課程編成・実施への助言や支援を図る。

4 幼児教育と小学校との接続

就学に向けた接続プログラムの充実を図る。

5 子ども発達支援センター機能

多様なニーズに対応した支援プログラムの充実を図る。

社会教育

子ども達をはじめ、すべての町民が幸せを感じることのできる生涯学習を実践する。また、入植以来 150 年の中で培ってきた当別町の文化や歴史を通じて、ふるさとを愛する心を育む。

1 魅力ある学習プログラム

ライフステージに応じた新たなプログラムを開発する。

2 文化・芸術・スポーツ

超少子・高齢化社会に対応した文化・芸術・スポーツを展開する。

3 歴史・文化財産の保存と活用

当別開拓の歴史を後世に伝え、新しい時代に生かす活動を展開する。

4 児童・生徒・家庭に対する支援

地域の教育力を活用した学習支援や多様な体験活動の充実を図る。

5 図書館機能の向上

読書活動活性化のための多様なサービスを実践する。

教育計画・予算

1	当別町教育推進計画	P4
2	当別町学力向上プラン	P5
3	当別町体力向上プラン	P6
4	コミュニティ・スクール（CS）	P7
5	教育予算	P8

《令和3年度》当別町教育推進計画

(確かな学力) (豊かな心) (健やかな体)

めざす人間像

つけさせたい力とめざす児童生徒像

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 1 基礎基本に基づき発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～夢や希望を実現するため努力し、行動できる子ども～
- 2 豊かな人間性 ～自分を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 3 健全な心身 ～全ての基礎となる強い心と体を持った子ども～
- 4 コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力 ～自分で考え自分の言葉で伝え、相手の意見に耳を傾け、人間関係を築ける子ども～
- 5 当別が好きなお子も ～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

学校教育		学校教育		社会教育	
<p>《基本方針》</p> <p>●小中一貫教育による確かな学力(知)、豊かな心(徳)、健やかな体(体)の育成</p>	<p>【重点1】 確かな学力の育成(知)</p> <p>主体的・対話的で深い学びにより、将来の夢や希望を実現するために必要な学力を育成する。</p> <p>1 小中学校連続した教育課程の編成と実施</p> <p>① 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善</p> <p>② 小学校授業改善推進チーム(チームJ)の視点を取り入れた授業改善</p> <p>③ 新しい取り組みへの挑戦(とうべつ未来学、教科担任制、学びのハンドブック)</p> <p>④ GIGAスクール事業(一人一台端末配置、授業改善、オンライン授業研究等)</p> <p>2 学びを支える人的支援</p> <p>① 学校教育指導主事の派遣</p> <p>② 学力向上推進講師の配置(英語、算数・数学、各2名)による教科担任制試行</p> <p>③ 小・中学校へのALT継続配置による外国語教育の充実</p> <p>④ 特別支援教育支援員継続配置(各校2名)による特別支援教育の充実</p>	<p>【重点2】 豊かな心の育成(徳)</p> <p>自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切にすることを大切にする心を全教育活動を通じて育成する。</p> <p>1 教科「道徳」を中心とした心の育成</p> <p>2 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた児童・生徒指導</p> <p>3 小中合同事業の開催(児童会や生徒会、いじめ撲滅集会、ボランティア活動等)</p>	<p>【重点3】 健やかな体の育成(体)</p> <p>自分を支える基本である健全な身体を、全教育活動を通じて育成する。</p> <p>1 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた体力向上の取り組み</p> <p>2 一校一実践</p> <p>3 食育指導</p>	<p>達成指標</p> <p>全国学力・学習状況調査等学力検査結果全国平均以上</p>	<p>課題</p> <p>●とうべつ学園開校準備(開校準備委員会、教育課程編成委員会のマネジメント強化)</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、GIGAスクールの構想の推進による「学びを止めない」仕組みの構築、教職員研修の充実、マニュアルの改善)</p> <p>●高等教育機関との連携 ●いじめ、不登校対策の充実(青少年センターの機能拡充)</p>
<p>《基本方針》</p> <p>●子どもの健やかな成長のための支援</p>	<p>【重点1】 子育て支援の充実</p> <p>1 地域や関係機関との連携による子育て支援</p> <p>2 子どもプレイルームの充実(学習活動、スポーツ活動等)</p> <p>3 児童虐待防止のための各機関との連携</p> <p>4 子育て短期支援事業(シヨートステイ)の実施</p>	<p>【重点2】 幼児教育・保育の充実</p> <p>1 認定こども園の教育・保育活動の充実</p> <p>① 保育支援者配置事業</p> <p>② 加算保育士配置事業</p> <p>2 就学に向けた幼保小間の接続プログラムの推進</p>	<p>達成指標</p> <p>待機児童ゼロ</p>	<p>課題</p> <p>交流事業の参加者前年度比10%以上増、児童虐待及び一時保護事業ゼロ</p> <p>●保育人材の確保支援</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、コロナ禍における認定こども園、子どもプレイルーム等での子育て・保育活動の継続)</p> <p>●子どもプレイルームの運営形態の見直し ●三課共同による子育て支援、幼児教育・保育の推進</p>	
<p>《基本方針》</p> <p>●全ての町民が幸せを享受できる生涯学習社会の実現</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用</p> <p>2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進(歴史研究、学習講座や講演会の開催)</p> <p>3 多世代交流事業(高齢者の生きがいづくり・家庭教育支援)の充実</p> <p>4 図書館活動活性化のための各種事業の実施</p>	<p>【重点2】 地域学校協働本部事業による児童生徒、学校支援</p> <p>1 地域学校協働本部事業による授業への講師派遣</p> <p>2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実</p> <p>3 学校運営協議会に対する支援</p> <p>4 図書館同書の学校派遣</p>	<p>達成指標</p> <p>新たな連携事業の展開、各事業参加者満足度80%以上</p>	<p>課題</p> <p>●第3次当別町子ども読書活動推進計画の推進(2021年度から施行)</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、社会教育施設運営の継続)</p> <p>●社会教育施設整備(総合体育館等) ●とうべつ学園図書館開設準備 ●三課共同による生涯学習事業、児童生徒・学校支援の推進</p>	

点検・評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

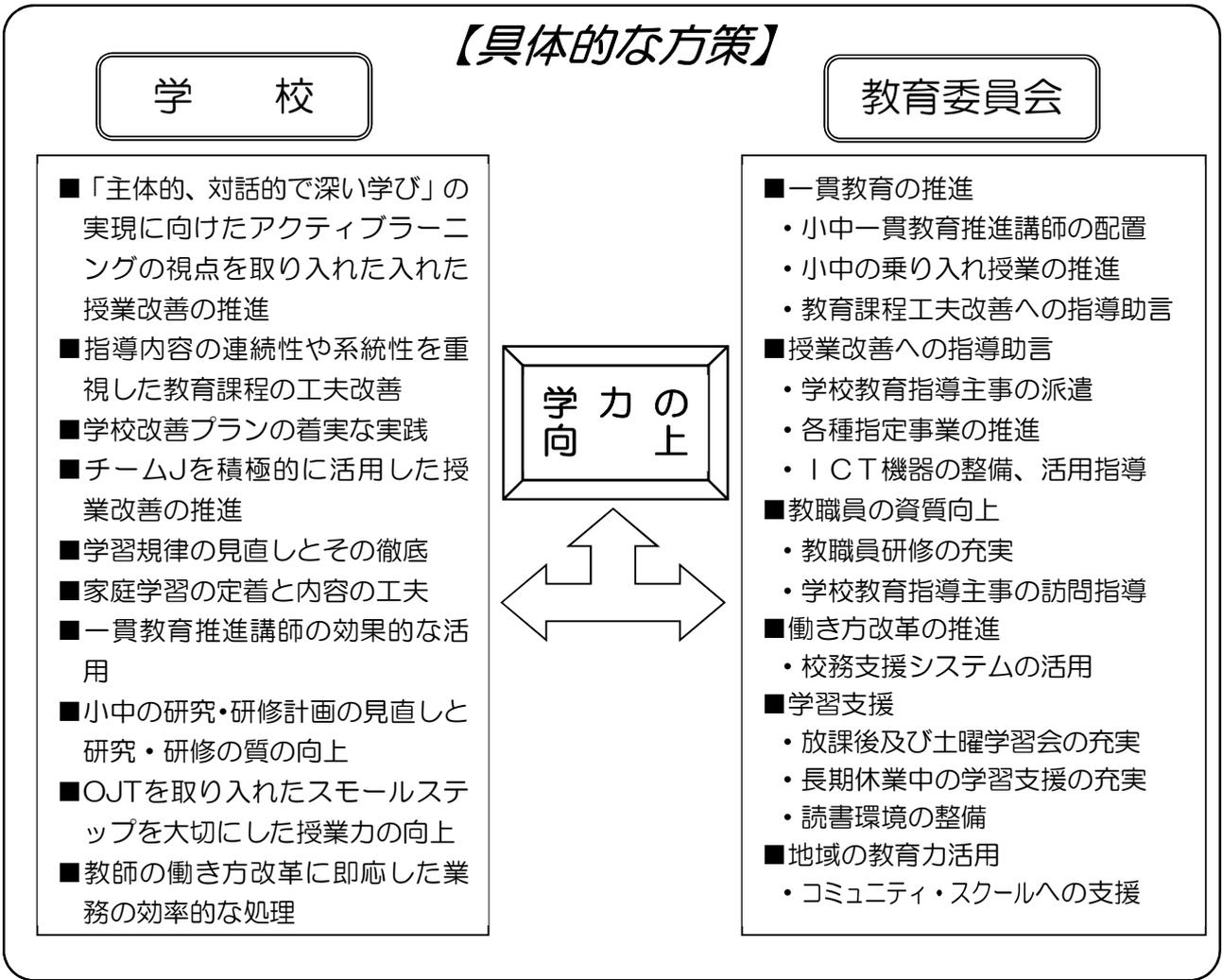
学校経営計画

➤ 2 令和3年度当別町学力向上プラン

【目標】 令和3年度の全国学力・学習状況調査で町内4校全てで、
全教科の正答率が全国平均を上回る。



【現状と課題】
 □小学校では、2校間での学力差がつかないように授業改善を積極的に進め、着実に学力向上を図っていく。
 □中学校では、小学校からの積み上げをしっかりと行うとともに、授業改善を積極的に進め、さらなる学力向上を図っていく。



9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
← 改善プランの実践・見直し →								調査 実施	評価と分析 改善プラン策定			

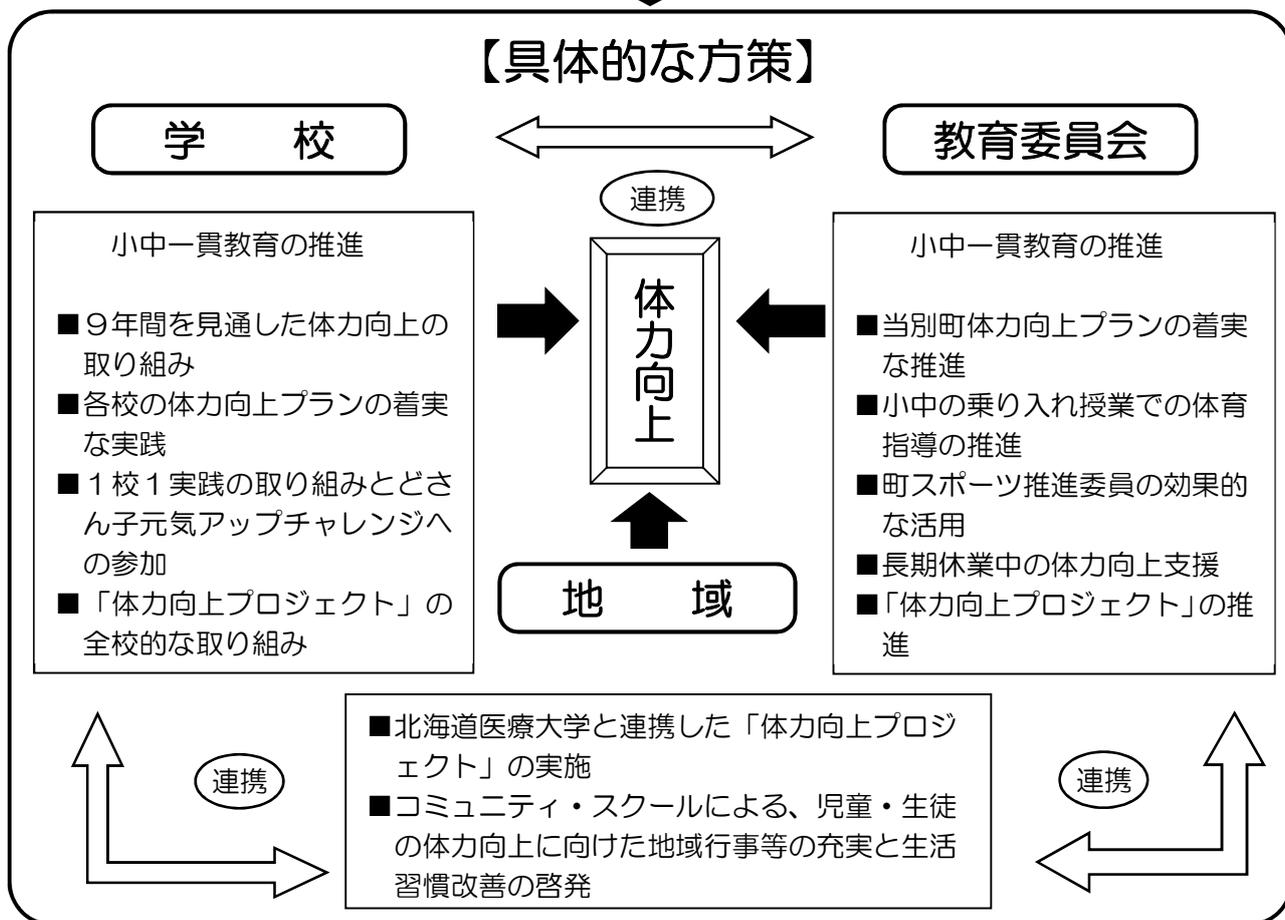
➤ 3 令和3年度当別町体力向上プラン

【目標】 全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均以上をめざす

【課題】

- 小学校男子と中学生男女の体力合計点が全国を下回っており、とりわけ小学生男子の落ち込みが大きい。
- 小・中学校ともに、家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を見ている時間が、全国平均を大きく上回っていることから、生活習慣の改善が喫緊の課題である。

【具体的な方策】



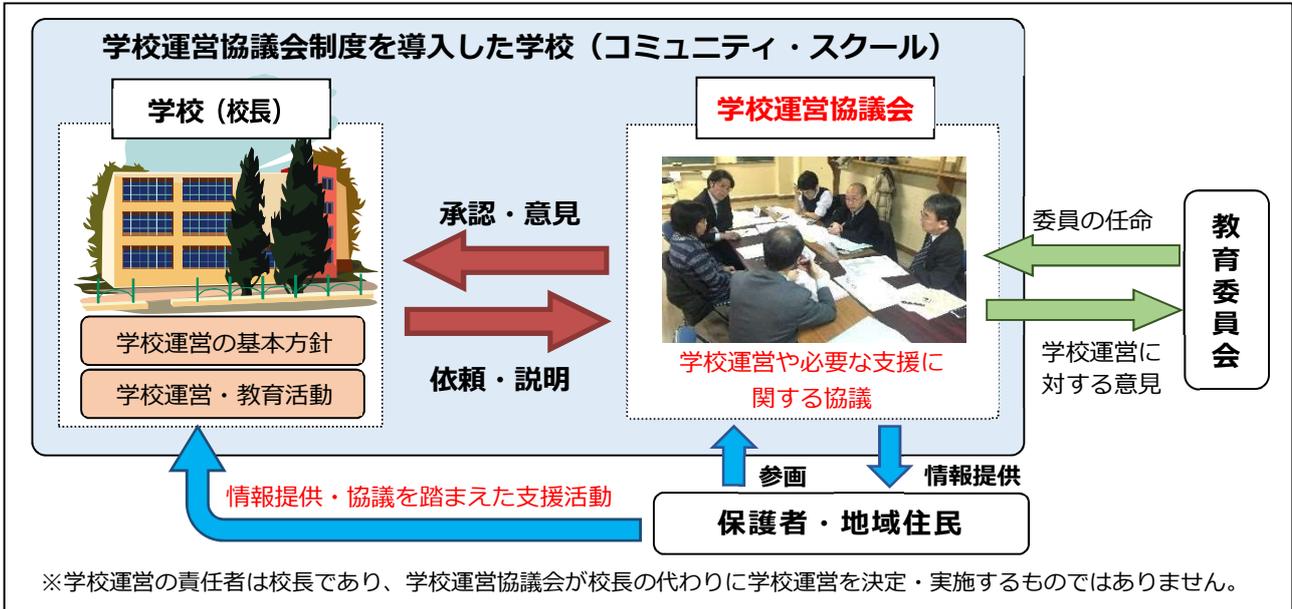
【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し	準備	体力調査実施	結果分析・評価								
教委	体力向上プラン作成	学校への支援							結果分析・評価			

➤ 4 コミュニティ・スクール（CS）

地域とともにある学校 = 学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



義務教育 9 年間の学びの充実のために

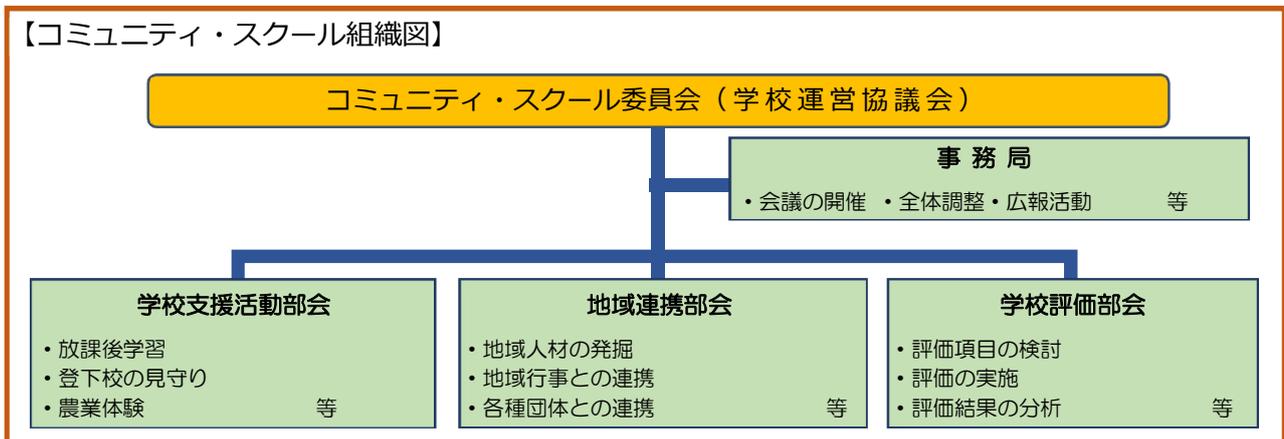
小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育 9 年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

当別町では、平成 29 年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。基本的な活動として以下の 3 点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

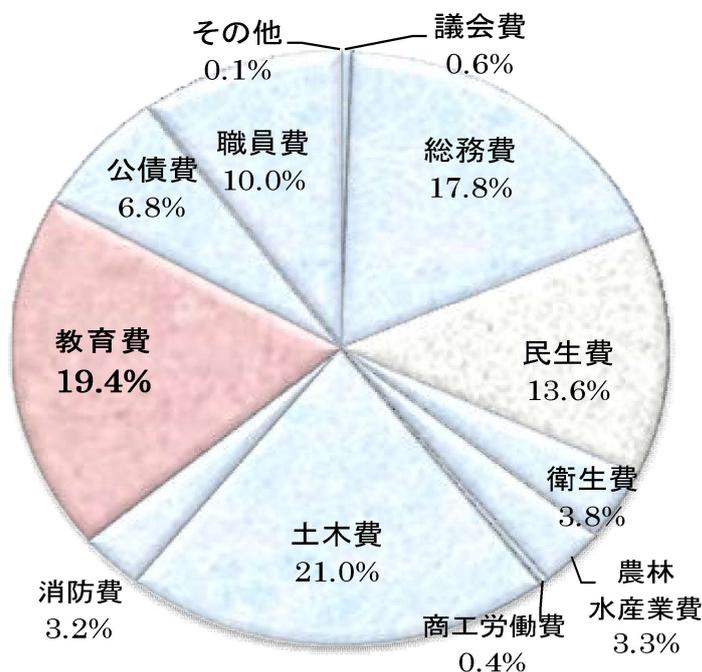
【コミュニティ・スクール組織図】



➤ 5 教育予算

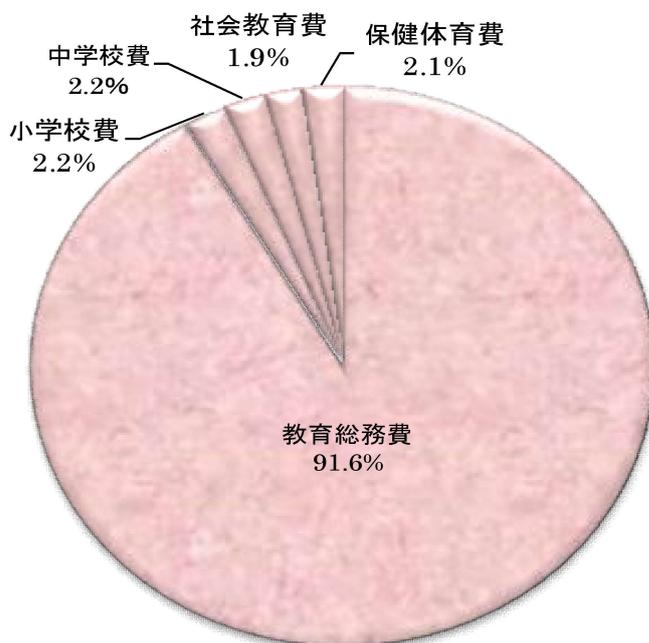
1 令和3年度 一般会計当初予算額

区分	金額（千円）	構成比（%）
議会費	86,389	0.6
総務費	2,687,574	17.8
民生費	2,047,981	13.6
衛生費	574,322	3.8
農林水産業費	504,172	3.3
商工労働費	68,743	0.4
土木費	3,173,370	21.0
消防費	480,816	3.2
教育費	2,918,145	19.4
公債費	1,022,010	6.8
職員費	1,501,567	10.0
その他	5,005	0.1
総額	15,070,094	100



2 令和3年度 教育費当初予算額

区分	金額（千円）	構成比（%）
教育総務費	2,672,658	91.6
小学校費	63,686	2.2
中学校費	62,952	2.2
社会教育費	56,746	1.9
保健体育費	62,103	2.1
総額	2,918,145	100



(参考)

民生費当初予算額（子ども未来課所管分）

区分	金額（千円）
児童福祉費	395,391

3 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
平成29年度	9,347,897	6.7	461,228	▲0.8	4.9
平成30年度	9,249,051	▲1.1	513,781	11.4	5.6
令和元年度	10,340,207	11.8	511,630	▲0.4	4.9
令和2年度	12,148,438	17.5	1,340,830	162.0	11.0
令和3年度	15,070,094	24.0	2,918,145	117.6	19.4

※各年度当初予算額

4 主な事業

【学校教育課所管】

教育情報システム運用事業（新規）（24,690 千円）

「GIGA スクール構想」において整備した「教育系ネットワークシステム」及び「校務系ネットワークシステム」を安定的かつ安全に使用できるよう、運用・保守管理を実施する。

当別町一体型義務教育学校建設事業（継続）（2,368,474 千円）

1年生から9年生までが一同に集い、「知・徳・体」を備えた世界に通用する人材を目指し、学習や部活動などの教育活動を展開する新たな義務教育のスタイルを実現するための校舎を建設する。

小中一貫教育推進事業（継続）（11,879 千円）

充実した指導体制による児童生徒の学力向上を目指すため、「学力向上推進講師（会計年度任用職員）」（英語2名、算数（数学）2名）を各中学校区に配置する。児童生徒・教職員の交流を促進するため、小学校高学年の中学校登校、中学校教員の小学校への乗り入れ授業等の取組を行う。教職員の資質向上を目的として、今日的な教育課題をテーマとした研修を実施する。

また、とうべつ学園の開校に向け、校歌の制作やシラバス「学びのハンドブック」の作成など、開校準備に関する業務を行う。

コミュニティ・スクール運営事業（継続）（723 千円）

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」（コミュニティ・スクール）による「地域とともにある学校」づくりを推進する。

学校給食費管理運営事業（新規）（54,301 千円）

学校給食費を私会計から公会計化し、給食費の透明化を図り、口座引き落としが可能な金融機関を拡充する。各学校において教職員の事務の軽減が図られ、保護者においては金融機関の利便性が向上する。給食センターでは、給食費の収納率の向上に繋がり、提供する給食の更なる質の向上を図る。

【社会教育課所管】

学校・家庭・地域連携協力推進事業（継続）（3,425 千円）

学校への講師派遣等の地域学校協働本部事業や、児童生徒の学力向上や学習習慣の定着化のための放課後学習会や土曜学習会、英語体験活動を実施する。

読書活動推進事業（継続）（8,006 千円）

図書館蔵書の充実、図書館情報専門員（司書）の任用、利用者の視点に立った図書館運営等の読書環境の整備を行い、読書活動を推進する。

社会体育施設等指定管理事業（継続）（44,164 千円）

社会体育施設等（総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）の指定管理を継続し、民間の活力により住民サービスの向上を図る。

【子ども未来課所管】

保育支援者配置補助事業（新規）（2,400千円）

保育士の負担軽減と働きやすい職場環境を整えるため、保育設備や遊具の消毒、給食の配膳・片付け、寝具の用意・片付けといった保育周辺に係る業務を行う保育支援者を配置する費用の一部を助成する。

子育て短期支援事業（新規）（ショートステイ事業）（83千円）

保護者が病気などの理由により家庭で子どもをみるのが困難になった場合、緊急に養育できる児童養護施設又は里親宅等で短期間預かり、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。